

2 (1)若手教員の資質向上に向けた育成の充実

① 初任者研修の研修時間数等の弾力的設定

改訂内容	現行時間数等	改訂後時間数等no	備考
(ア) 校内研修時間数	300時間以上	240時間以上	① 各校における初任者の指導状況を勘案した ② H28年度の全国校内研修平均243時間
内訳(1)対面指導	180時間以上	120時間以上	週当たり 6時間以上(現行) → 4時間以上 とする (全30週)
内訳(2)準備まとめ	120時間以上	120時間以上	週当たり 4時間以上(現行と同じ) (全30週)
(イ) 校外研修日数	21日	19日	① 重複する研修内容を整理した ② H28年度の全国校外研修平均日数19.1日
1 学校運営への参画	0.5日	0	各種校務分掌の経験を踏まえた上で組織を俯瞰し学校運営に参画できるように「5年経験者研修」に移行する
2 宿泊研修野外炊事研修	0.5日	0	体験活動が重複しているため削減
3(1)(小中)企業等体験	各1.0日	0	・インターンシップを8割以上の大学で実施、初任者は既習のため削減
3(2)(高特)福祉体験			「教育職員免許法特例」により免許取得時に介護等体験が義務付けられているため削減

② 第1ステージの研修の体系化による若手教員の継続的育成:「サッフアモア研修」

(ア) 目的: 第1ステージに受講する研修会を体系化し、若手教員の主体的・継続的な資質能力向上を支援する

(イ) 内容: 自分で設定するテーマに沿った希望研修会を5年間で1.5日分(0.5日×3回)受講し、5年経験者研修で発表する

校外研修	初任研(1年目)	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目=5年経験者研修 3.0日
中・高・特別支援学校	19日	センター希望研修を5年間で1.5日分(0.5日×3回)受講⇒ポートフォリオに記録				
小学校	19日	小学校体育実習 3日(予定)	小学校理科実験 2日			6年目=5年経験者研修 3.0日
5年間で1.5日分(0.5日×3回)の受講は希望とする⇒ポートフォリオに記録(任意)						

(2) 初任者の背景に応じた個別的対応

① 教職大学院修了者に対する一部受講免除

免除研修項目	免除時間数等	免除後時間数等	備考
(ア) 校内研修時間数	60時間	180時間以上	
内訳(1)対面指導	30時間	90時間以上	教職大学院の教科領域演習等で既習 週当たり 4時間以上(一般) → 3時間以上 (全30週)
内訳(2)準備まとめ	30時間	90時間以上	週当たり 4時間以上(一般) → 3時間以上 (全30週)
(イ) 校外研修日数	4.0日	15日	
学習指導要領・ICT活用・生徒指導	1.0日	1.0日	「教育課程」「情報教育・ICT」「教育相談・生徒指導論」等で既習 ※ICT活用授業実践研修会は1.0日分受講する
特別支援学校参観	1.0日	0	「特別的教育課程」等で既習
教科指導法1	0.5日	2.0日	基本は「教育課程」「選択」等で履修 ※夏期研修期間中に2.0日分の教科研修を受講し勤務校に即した実践を学ぶ
道德教育	1.0日	0	教科領域実践開発コース 共通科目「道德教育の理論と実践」で既習
博学連携	0.5日	0	教科領域実践開発コース 共通科目「教育・地域課題挑戦プロジェクト実践論」で既習

② 期間採用等経験者に対する一部受講免除

※対象: 特別選考D(2)③に該当する者

※D(2)③「山梨県の公立学校の小・中・高・特別支援学校の臨時的任用教職員(期間採用教員・代替教員)として過去5年間で通算3年以上の勤務経験がある者」

免除研修項目	免除時間数等	免除後時間数等	備考
(ア) 校内研修時間数	120時間	120時間以上	
内訳(1)対面指導	30時間	90時間以上	期間採用等で指導経験済 週当たり 4時間以上(一般) → 3時間以上 (全30週)
内訳(2)準備まとめ	90時間	30時間以上	週当たり 4時間以上(一般) → 1時間以上 (全30週)
(イ) 校外研修日数	6.0日	13日	
学習指導要領・ICT活用・生徒指導	1.0日	1.0日	学校現場で理論・実践含め指導経験済 ※ICT活用授業実践研修会は1.0日分受講する
特別支援学校参観	1.0日	0	学校現場で理論・実践含め指導経験済
教科指導法1	0.5日	2.0日	学校現場で理論・実践含め指導経験済 ※夏季休暇中に2.0日分の教科研修を受講し勤務校に即した実践を学ぶ
宿泊研修	2.0日	0	学校現場で理論・実践含め指導経験済
道德教育	1.0日	0	学校現場で理論・実践含め指導経験済
博学連携	0.5日	0	学校現場で理論・実践含め指導経験済